

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		キッズbond垂井		公表日		2026年 3月 4日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・配置の見直しをしたことで、随時遊びのスペースが確保された。 ・静の活動と動の活動の空間や、それぞれの遊びの時間を分けたりしている。	・混雑しやすい時間帯には生活動線が重なりやすいため、環境調整をしていきたい。 ・地域資源の活用をうまく取り入れることで、より解放的な活動を増やしていきたい。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7		・おおよそ、こども2人に対し1人の職員を配置している。 ・急な変更にも対応できる配置をしている。	・個別支援が重なる時間帯では、どの子にも必要な支援と安全が保証される環境を整えていきたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・玄関の段差以外は訓練室、学習室、トイレとバリアフリー。訓練室と学習室が分かれている。 ・一日の流れ、係、配車表など必要な情報はひらがなやイラストで表示し、見通しがもてるようにしている。	・必要なものを掲示して余計な情報を減らし、「わかりやすい」形をカスタマイズし続けていきたい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日の掃除、玩具等の消毒、絨毯やマット等の定期的な洗濯など清潔に心がけている。 ・安全計画、感染症対策に沿って整備している。	・環境整備や身の回りの整理整頓を、これからもこども達と一緒に取り組んでいきたい。 ・備品を安全に使用するために、確認・交換をしていくことが必要。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・クールダウンが必要な場合は、学習室や職員室を使用し、職員が寄り添って気持ちの切り替えをする場所の確保ができています。	・多目的に使用できるパーテーションがあるとよい。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7		・受入前ミーティングや職員会議にて、全体で業務や支援の振り返りを行い、記録を回覧することで全職員に共有している。	・全員で業務改善に向けての活発な意見交換ができることを目標としていきたい。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・年一回の評価表アンケートを実施している。 ・送迎時、相談支援時、モニタリング時等や日々のラインや電話でご意見をお聞きし、柔軟に対応している。	・中間時期に、アンケートを実施し年度内に業務改善につなげていく機会を作るようにしていきたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	1	・普段から職員間のコミュニケーションをとっている。 ・受け入れ前ミーティングや職員会議で誰でも発言する機会があり、話し合いで決定するようにしている。	・全体ミーティングだけでなく、個人的に話を聞く時間を作り、より丁寧に職員の意見を聞き取っていただけるようにしたい。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。			・第三者による外部評価は行っていません。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・定期的に社員研修があり、必要に応じて外部研修を受けている。 ・専門職チームによる障がいの基礎知識を学ぶ機会がある。	・事業所内で復習したり、研修内容を支援に活かしたりしていきたい。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・支援プログラムを作成し、ホームページに公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7		・保護者とのモニタリングでニーズの確認をしている。 ・Vineland=II(半構造化面接)でアセスメントを行い、心理士などの専門家を交えて課題を客観的に分析し、計画を作成している。	・アセスメントの質向上に向け、記録方法や情報共有の工夫を進めたい。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	1	・達成可能な目標を、遊びを通じた具体的な手立てを考察し、計画を作成している。 ・職員間で共通理解をしている。	・アセスメント内容の事前保護者確認や職員間共有の打合せの機会を増やし、十分に検討できる体制づくりを図りたい。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・資料や計画が職員室内で確認できるようにしている。 ・個人記録用紙にも記載し、随時確認できるようにしている。	・職員会議などを活用し、個々の特性に合った有効な支援内容の共通理解を深めていきたい。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7		・フォーマルアセスメントでは、主にVineland-IIといった標準化されたツールを使用している。日々の行動観察は、個別支援記録において毎日記録している。		

適切な支援の提供	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> 個別支援計画は、プロフィールや利用状況、ニーズや具体的な支援内容に基づく目標など必要な項目をすべて網羅された計画書になっている。 ・アセスメントを基に、原案がスーパーバイズによって実現可能な計画に作成されるようになっている。 	こどものニーズや特性、生活背景を十分に理解し、強味を生かした具体的な計画が作成できるよう、ケース検討を充実させていきたい。
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・原案を担当職員が作成し、職員で話し合って決定している。 	・職員間でのアイデアの共有や、短時間ミーティングを充実させていきたい。
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・制作、食育、お出かけ、運動、リトミックなどの領域をバランスよく取り入れ、こどもの興味や季節感を重点に決定している。 	・こどもの興味、関心に視点をあて、期待感が持てる内容を検討し、プログラムの幅を広げていきたい。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの特性に応じ、個別と集団を組み合わせた計画を作成、実施している。 ・集団遊びは、一日おきに実施し、ルールをアレンジして無理なく参加できるようにしている。 	・こどもの発達や興味に合わせて集団遊びの頻度や内容を検討し、活動を通して社会的スキルを向上させていきたい。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・毎日、受入前ミーティングを行い活動内容の打合せ、利用児の送迎確認や前回の様子、家庭からの連絡事項の伝達などを行い、記録を取っている。 	・事前チェックリストにより、支援内容の確認も確立させていけたら良いかもしれない。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動の反省や気づきを話し合っている。 ・個人記録の記入を行いながら、それぞれのこどもについて支援の振り返りをし、翌日のミーティングでも共有している。 	・気づきの要点を簡潔に整理できる仕組み作りを整え、継続的に支援改善へ活かせる体制づくりを進めたい。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・その日のうちに記録をしている。 ・支援記録や行事記録により支援内容の改善点を探っている。 	・記録内容の整理方法を工夫し、検証結果をより計画的に支援改善につなげていきたい。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・定期的なモニタリングを行い、ご家庭の様子、園での様子、サービス計画の評価、教室への要望を伺うことで、ニーズや課題の把握をしている。 	・得られたニーズを職員間でより共有しやすく整理し、計画の見直しに一層反映しやすい仕組みづくりを進めたい。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7		<ul style="list-style-type: none"> ・児発管が中心に参加している。 	・情報共有や打合せの強化により、他の職員も多角的な視点で状況を伝えていきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事業所での様子を保護者を通して伝えられている。 	・情報整理の方法を工夫し、必要な支援内容がより確実に共有されるようにしていきたい。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、平行利用をする利用児はない。 	・必要がある場合は、関係機関と連携を取り、インクルージョンを推進できるよう環境を整えていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5	2	<ul style="list-style-type: none"> ・就学前には、進学先と保護者、事業所間で情報共有を行い、スムーズな移行ができるようにしている。 	・就学後も継続的に、相互の情報共有と相互理解ができるようにしていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	1	6	<ul style="list-style-type: none"> ・児童発達センターとの連携や助言を受ける機会を設けていない。 	・児童発達センターとの連携は不十分だと感じている。今後は改善していきたい。 ・センター内研修にも参加していきたい。	
32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	2	5	<ul style="list-style-type: none"> ・園との交流はない。 ・地域の公園や施設を利用する際に、他のこどもと一緒に遊ぶことがある。 	・こどもの興味や特性に合わせて、地域での遊び先の選択を広げられるようにしていきたい。	

	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7		・連絡帳、送迎時、LINE、モニタリング時に状況などを伝えあっている。	・こどもの変化をより丁寧に取得できるよう、情報交換の機会や方法を充実させたい。
	34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3	・ご家族の参加できる研修の機会を行っていない。	・相談支援は行っているが、ペアレントトレーニングは不十分だと感じている。今後は積極的に取り入れていきたい。
保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7		・契約時に口頭で説明し、質問には随時対応している。また、自由に閲覧できるよう手の届くところにファイルを提示している。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・モニタリングなどの機会に保護者のニーズを確認したり、こどもの好きな遊びや得意な遊びを取り入れて計画書を作成している。	・意向確認の機会をさらに工夫し、より丁寧に反映できる体制づくりを進めていきたい。
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7		・完成した計画書を提示し、丁寧に説明後、同意を得ている。	・保護者がより理解しやすい提示方法や振り返りの機会を工夫し、同意形成をより丁寧に進めていきたい。
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・モニタリング時や送迎時、LINEでの相談にも応じている。 ・必要に応じ相談支援の場を設け、心理士との専門的な面談に対応できる。	・保護者がより相談しやすい場や情報提供の方法を増やし、より安心して悩みを話せる環境づくりを進めていきたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7		・今年度は3回の保護者参観を計画した。3月には、きょうだい交流を含む保護者参観及び保護者交流会を計画している。	・参加者の事後アンケートをもとに職員間で協議を重ね、より教室理解と保護者交流の場に繋がるよう年間計画の作成を進めていきたい。
	40	こどもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申し入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・支援直接かかわる情報は迅速に周知対応をするようにしている。	・記録様式の整備や周知方法の見直しを進めることで、保護者がより安心して意見を伝えられる体制づくりを進めていきたい。
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7		・毎月、キッズポンド通信と活動予定表を各家庭にお渡ししている。また、毎日FacebookやInstagramに活動の様子をアップし共有している。	・保護者が必要な情報をより見つけやすく整理し、伝わりやすい形で配信する工夫を進めていきたい。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7		・個人ファイルなどの書類はすべて鍵付きの書庫で管理している。	・職員間で確認体制をさらに見直し、より安全性の高い管理体制を整えていきたい。
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・文字、写真、ジェスチャーなど特性や発達に合わせた個別の方法で対応している。	・こどもの特性や育ちに合わせ、より多様なコミュニケーションの方法を探ってきたい。
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	4	・行事に地域住民を招待したことはない。地域の社会福祉協議会から、年末行事の運営に補助を受けた。	・地域との交流の場を具体的に計画し、できる範囲で地域への情報発信など開かれた運営に努めたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・マニュアルを策定しファイルにまとめ、いつでも見られるようにしている。 ・社内研修、事業所内訓練を行っている。	・各マニュアルの内容をより実践に即したものに更新し、職員全体で共有する研修機会を増やしていきたい。
	46	業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・BCPは策定している。 ・避難訓練は毎月行っている。 ・必要な研修や訓練も行っている。	・マニュアルの要点を現場で確認しやすい形の整理し、災害時には地域と連携した迅速な行動につなげていけるようにしたい。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7		・インテーク時に情報収集を行っている。 ・服薬が必要な場合は与薬票の記入で詳しく確認を行っている。	・常に最新の状況と情報を把握できるよう、職員間の共有方法を整備していきたい。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	1	・保護者を通して医師による指示書を伝達してもらい、対応している。 ・全職員が確認できるよう一覧表にしている。 ・摂取だけでなく、接触にも配慮している。	・定期的な確認をより整備し、すべての活動時に完全な対応ができるよう、二重、三重のチェック体制を整えていきたい。 ・アレルギーが除去された食材の確認は、すべて現物で保護者に確認をとることを徹底する。
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7		・安全計画は作成している。 ・必要な研修や訓練も行っている。	・職員への周知や訓練など、定期的に行っていきたい。
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・毎月の通信に取り組み、内容を載せて周知している。	・保護者がより理解しやすい形で伝えるよう、周知方法の工夫を今後検討していきたい。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・ヒヤリハットが上がった場合は報告書を本部に提出し助言を受けた後、職員会議で再発防止の協議と共有をしている。	・検討内容をより体系的に残せる仕組みづくりを検討していきたい。 ・キッズポンドグループ内でより多くの事例を共有し、事故防止に努めていきたい。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・社内研修や外部研修で複数回実施している。また、虐待防止委員会でも話し合っている。	・日々の支援場面での気づきや小さな出来事を共有する機会をさらに増やし、職員全体で理解を深めたい。	

53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	・身体拘束適正化委員会を設置し、必要な研修や訓練を行い、重要事項説明書に同意をもらっている。	・職員間で具体的な判断基準の共有をより丁寧に行い、保護者への説明方法も分かりやすく工夫していきたい。
----	--	---	--	--